

# 薬学部

School of  
Pharmaceutical Sciences

■ 薬科学科 ■ 薬学科 入学定員 計120人



薬学部6年  
太田 晶仁さん

## 【 学生 × 学部長 】 特別対談 デアイとミライ

どのような研究や学びができるのか  
教えてください。

**吉成:** 本学部のカリキュラムは、薬のプロフェッショナルとして、地域から世界まで幅広く活躍できる人材の育成を重視しています。低学年から高学年にかけて、薬の性質や作用、人体や病気の仕組みを体系的に学びます。3年生の後期からは全員が研究室に所属し、教員の指導のもと卒業研究に取り組みます。関連する英語論文を読み、最新の研究機器や実験手法を活用した研究を行うことで、講義だけでは得られない思考力・発想力・問題解決

能力を養うことができます。太田さんは、なぜ薬学部を選んだのですか。

**太田:** 化学が好きで、高校時代に医薬品の有効成分を合成した経験から、その物質が体内でどう作用するのかという仕組みに興味を抱きました。同時に、真に必要とされる新薬づくりには患者さんが抱える課題やニーズの理解が不可欠と考えたため、基礎と臨床の両方の視点を養える薬学部を志望しました。

現在行っている研究や学びについて  
具体的に教えてください。

**太田:** 循環器疾患の病態や治療薬への応答性の

性差、そのメカニズムは依然として不明な点が多いです。この課題に対して私たちは、遺伝的背景に近い男女双生児のiPS細胞を樹立しました。現在はiPS細胞から心筋細胞に分化誘導し、特に不整脈の発生基盤となる電気生理学的な機能差に着目した機能解析を行っています。将来的には性差を考慮した医薬品開発や臨床応用へ貢献することを目指しています。

**吉成:** 研究が実を結びと良いですね。薬剤師は「街の化学者」と言われることがあります。実際、薬学部では、他の医療系学部 비해、化学の学習時間が長く、卒業研究も充実しています。また、他の理系学部にはない、薬の応用に関する多様な科目が設けられています。太田さんが「薬学人」として社会で活躍されることを期待しています。

## 創薬と医療薬学のスペシャリストを育成する

生命科学を基礎として薬の構造から機能までを理解し、

高度な薬学的思考力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成します。

医薬品の研究開発、衛生行政、薬剤師など、多様な分野での活躍が期待できます。



薬学部長  
吉成 浩一

### 将来のために努力していること について教えてください。

**太田:**私は元来、安定志向の性格です。しかし、現在は「やってみたい」という意欲を大切に、研究活動を主軸としながら、積極的に様々なことに挑戦しています。仲間から良い刺激を受けることで、多方面に興味が向くようになり、そこで得られる知識や経験を一つでも多く吸収するよう意識しています。

**吉成:**本学部は創薬研究者や指導的薬剤師の養成を第一の目的としています。薬の専門家になるためには、物理・化学・生物を基礎とする幅広い学問の修得が必



要であり、学習を進める中で新たな分野に興味を持つ可能性も高いです。私自身は有機化学が好きで、学べる分野が広いと感じたため薬学部を選び、現在は主に医薬品副作用の研究を行っています。太田さんも視野を広げて学ぶことで、在学中に適性に合った進路を見つけて欲しいですね。薬学で学ぶ知識は様々な分野で求められるため、進路は多岐にわたります。ただ、「薬や化学物質のプロフェッショナルとなること」は薬学部生の共通の目標だと思いますので、このことを忘れずに学習してください。

### 薬学部への入学を目指す受験生に、 アドバイスやメッセージをお願いします。

**太田:**本学には、探究心や実践力、両方を究めたいと願う皆さんを、サポートしてくれる環境があります。最先端の研究と薬剤師教育が融合するこの場所で、未来の

医療を切り拓く高い志を持つ仲間が待っています。夢に向かってひたむきに努力する皆さんを、心から応援しています。頑張ってください。

**吉成:**4年制の薬科学科は、大学院へ進学し、将来は創薬や生命科学の研究に従事したいと考えている人に、6年制の薬学科は、専門性の高い指導的薬剤師や医療薬学の研究者を目指す人に入学して欲しいと考えています。卒業後は「薬学人」として社会に貢献するため、単に知識を習得するだけでなく、学習意欲と科学的探究心を持ち続け、学んだ知識を社会のニーズに応じて柔軟に活用できる人を求めています。薬の作用に興味がある方、薬で人々を救いたいと考えている方は、ぜひ薬学部を目指してください。





01  
学科紹介  
Class

高度な薬学的思考力と倫理観を備えた  
創造性豊かな人材の育成を目指して



4年制

## 薬科学科

### 創薬科学者への道を開く

本学科は、医薬品の創製、研究開発、生命科学や環境科学に関する教育を併せ持つ総合的な学科です。薬学共通の基礎・専門・教養教育の後に最先端の科学を取り入れたアドバンスで充実したカリキュラムが用意されています。研究に力を入れ、創薬科学・衛生薬学の新たな基盤構築に貢献する人材の育成を目指しています。

#### ▼ 卒業後の主な活躍フィールド

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 大学院進学 | 製薬企業や大学等で幅広く活躍できる高度な専門的研究能力を育成 |
| 製薬企業  | 新薬の研究開発のほか、MR(医薬品情報担当者)としても活躍  |
| その他企業 | 化学や食品系の企業における製品の開発             |
| 大学研究室 | 大学での研究や教育                      |

6年制

## 薬学科

### 高度医療を担う薬剤師・医療薬学研究者を目指す

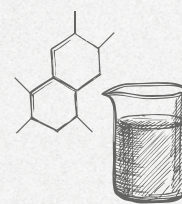
医療技術の高度化とともに医薬品の安全かつ適正な使用を推進するため、薬剤師には調剤業務に加え、服薬指導、服薬歴管理、処方設計の支援、リスクマネジメントへの参画、医薬品情報の提供、ならびに治験の推進といった業務が強く求められています。本学科では薬学の基礎・専門教育とともに医療薬学教育及び実務実習を行い、高度医療に貢献する人材の育成を目指しています。

#### ▼ 卒業後の主な活躍フィールド

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 病院   | 調剤、服薬指導、服薬歴管理、処方設計の支援などの業務        |
| 保険薬局 | 保険調剤や服薬指導のほか、一般用医薬品、保健機能食品などの相談業務 |
| 公務員  | 薬剤師としてのみならず、保健衛生や薬務行政に従事          |
| 製薬企業 | 新薬の研究開発のほか、MR(医薬品情報担当者)としても活躍     |



## 多様な分野での活躍ができる 能力育成を考慮した授業展開



### 機能形態生理学I

機能形態生理学Iでは、人体を構成する各器官系の構造と機能、ならびにそれらの相互連関の理解を目的としています。特に細胞小器官、細胞内情報伝達及び細胞間コミュニケーションを中心とした細胞生理学とともに、脳神経系・骨格筋・心臓などの興奮性器官における、活動電位の発生とそれに基づく生体調節機構について学修します。



### 実務事前実習

薬学科の学生は臨床現場での実習に出る前に、薬学部棟にある模擬薬局で薬剤師の業務の基本となる知識、技能と薬剤師としての振る舞いを習得します。患者・来局者との医療面談や調剤、無菌調製などを練習するほか、フィジカルアセスメントなど新しく薬剤師に必要とされる技能も実習します。またグループ討議をしながら具体的に薬物治療計画を作成することで実践的な知識を学びます。

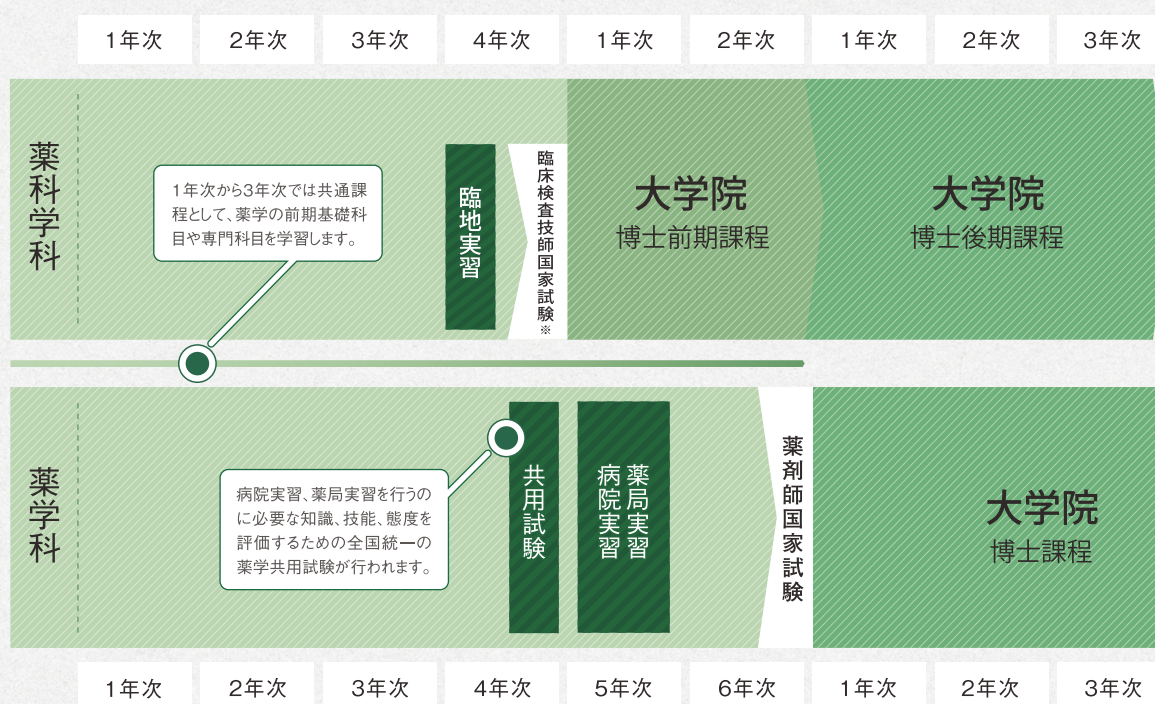


### 卒業研究

専攻学科によらず学部学生は、3年次後半より、研究室に配属されます。生物学、生理学、物理学、化学などの基礎学問から、薬理学、分析化学、製剤、毒性学、実践薬学など「薬」に関わるサイエンスまで、最先端のオリジナルな研究を行います。本講義では将来的に基礎生命科学、創薬、そして、より実践的な医療薬学領域の研究者として活躍するための素養を養います。

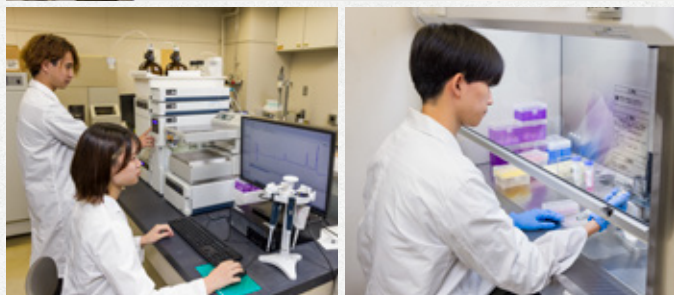


## 薬学の基礎や専門科目を 総合的に学べるシステム



※臨床検査技師養成カリキュラムは選抜制(定員10名程度)です。

## 研究室紹介



## 01 ピックアップ研究室

薬学科

## 竹内英之 研究室

研究分野 生化学



私たちの体には、健康を維持するための「恒常性（ホメオスタシス）」という体の状態を一定に保とうとする仕組みがあります。しかし、そのバランスが崩れると体調を崩し、薬の力を借りることになります。人が安心して薬を摂取できるようにするためには、薬を摂取する側の私たち人間の体の仕組みをしっかりと理解する必要があります。人をはじめ、動植物や細菌、ウイルスなど、すべての生き物の細胞表面には「糖鎖（とうさ）」と呼ばれる糖の鎖があります。糖鎖は形や構造が非常に多様で、受精や発生、神経機能、免疫、細胞の成長や死など、生命の基本的な仕組みを支えています。一方で、炎症やがん、ウイルス感染など多くの病気にも関係していますが、その働きの全貌はまだ明らかになっていません。私たちの研究室では、こうした未知の領域に正面から向き合い、糖鎖の役割を分子レベルで探求しています。世界各国の研究者と共に、地道な基礎研究を積み重ねながら、生命現象の新しい理解を切り開き、将来、人々の健康と豊かな暮らしを支える生命科学、そして、医療のフロンティアを築くことを目指しています。

## 02 ピックアップ研究室

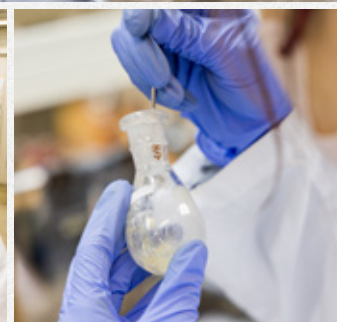
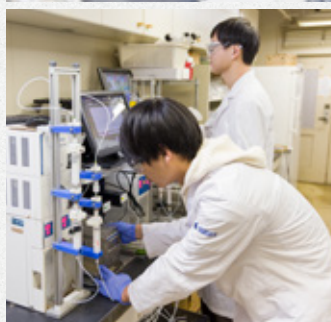
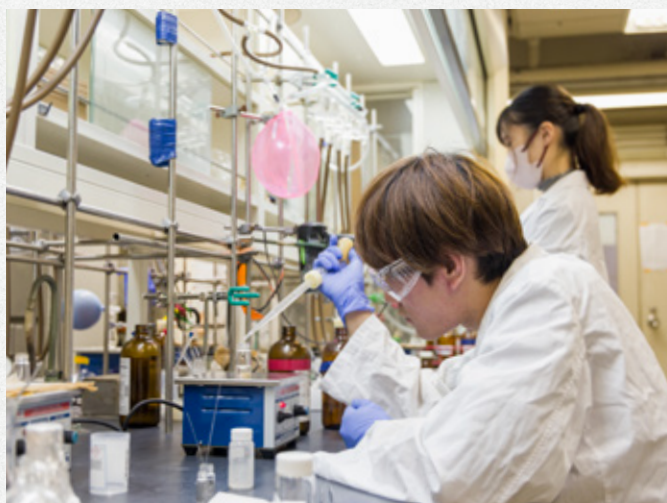
薬科学科

## 濱島 義隆 研究室

研究分野 医薬品創製化学



医薬品創製化学分野では、病気を治す「薬」を効率よく、そして環境にやさしく合成するための新しい化学反応を日々研究しています。創薬モダリティの進展により様々なタイプの医薬品が開発されていますが、従来の低分子薬から最新の抗体医薬まで、それらはすべて有機化合物であるため、薬学において有機化学は医薬品そのものを生み出し、理解するための土台となる学問です。医薬品は精密な設計図に基づいて作られる小さな分子の集合体ですが、これを組み立てるには、適切な「道具」と「技術」が必要になります。我々が研究しているのは、まさにその「特別な道具」である触媒です。特に、医薬品の効果を高めることが知られている「フッ素」という原子を自在に分子に組み込む技術や、太陽光エネルギーを利用する「光触媒」とそれを活用する化学結合の自在な組み換え反応の研究に注力しています。これらの合成技術を活用して、今まで合成が困難だった複雑な化学構造をもつ新しい分子を創り出し、生物活性評価研究と連携してその機能確かめています。入手しやすい単純な物質を短工程で生物活性分子へと変換し、最終的に人々を救う新規治療薬や診断薬の開発へと繋げていくことを目指しています。



## OB・OG紹介



## 旭化成株式会社

水島製造所 プロセス安全技術部 勤務

## 小原 遼真さん

2023年3月卒業

私は現在、旭化成株式会社水島製造所にて化学プラントの安全管理業務を担当しています。専攻は薬科学で研究室では有機合成化学の研究に取り組んでいましたので、学生時代の専門との直接的なつながりが薄い現在の職務内容ではありますが、在学中に培った科学の素養や課題解決に向けた考え方はいま大いに役に立っています。薬学部の魅力のひとつは、基礎的な学問から応用的な学問まで幅広い分野に触れることだと思います。ぜひ静岡県立大学に広がる環境と機会を活かしつつ、学内外で様々な領域にチャレンジして知識と経験の幅を広げていってほしいと思います。

受験生の皆さんはいま大変な時期だと思いますが、勉強もそれ以外のことも楽しみながら全力で取り組み、未来を切り拓いていきましょう。

## 取得資格のピックアップ

▶ 取得できる資格一覧はP63参照

## ・薬剤師国家試験受験資格

薬剤師国家試験受験資格は、6年制薬学科の卒業生のみにも与えられます。  
4年制薬科学科卒業生は、薬剤師国家試験を受験することはできません。

その他の取得可能な資格

## ・臨床検査技師国家試験受験資格※

(薬科学科卒業生) ※臨地実習を含む指定科目の履修が必要

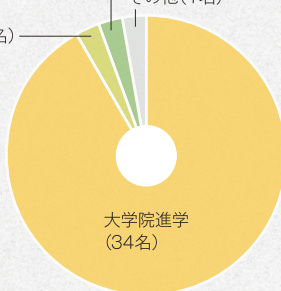
## 進路状況

2025年度卒業生

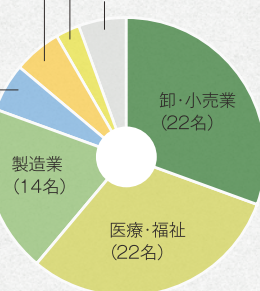
## 学部卒業生

(薬科学科)

製造業(1名)

学術研究・専門・  
技術サービス業(1名)  
その他(1名)

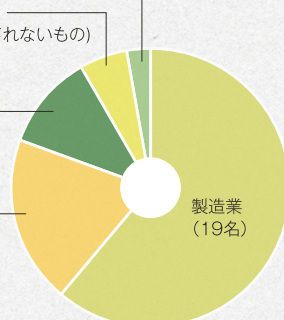
(薬学科)

サービス業  
(他に分類され  
ないもの)  
(4名)公務員(4名)  
大学院進学(2名)  
その他(4名)

## 大学院修了者

サービス業  
(他に分類され  
ないもの)  
(2名)卸・小売業  
(4名)大学院進学  
(7名)

公務員(1名)



## 主な就職先(過去3年)

アステラス製薬

エーザイ

小野薬品工業

大塚製薬

塩野義製薬

キッセイ薬品工業

第一三共

田辺三菱製薬

中外製薬

持田製薬

あすか製薬

旭化成

協和キリン

Meiji Seika ファルマ

シスメックス

グラクソ・スミスクライン

ファイザー

ヤンセンファーマ

静岡県立病院機構

静岡済生会総合病院

聖隷福祉事業団

浜松医科大学医学部附属病院

名古屋大学医学部附属病院

鳥取大学医学部附属病院

群馬大学医学部附属病院

ウエルシア薬局

杏林堂薬局

日本調剤

アインホールディングス

医薬品医療機器総合機構

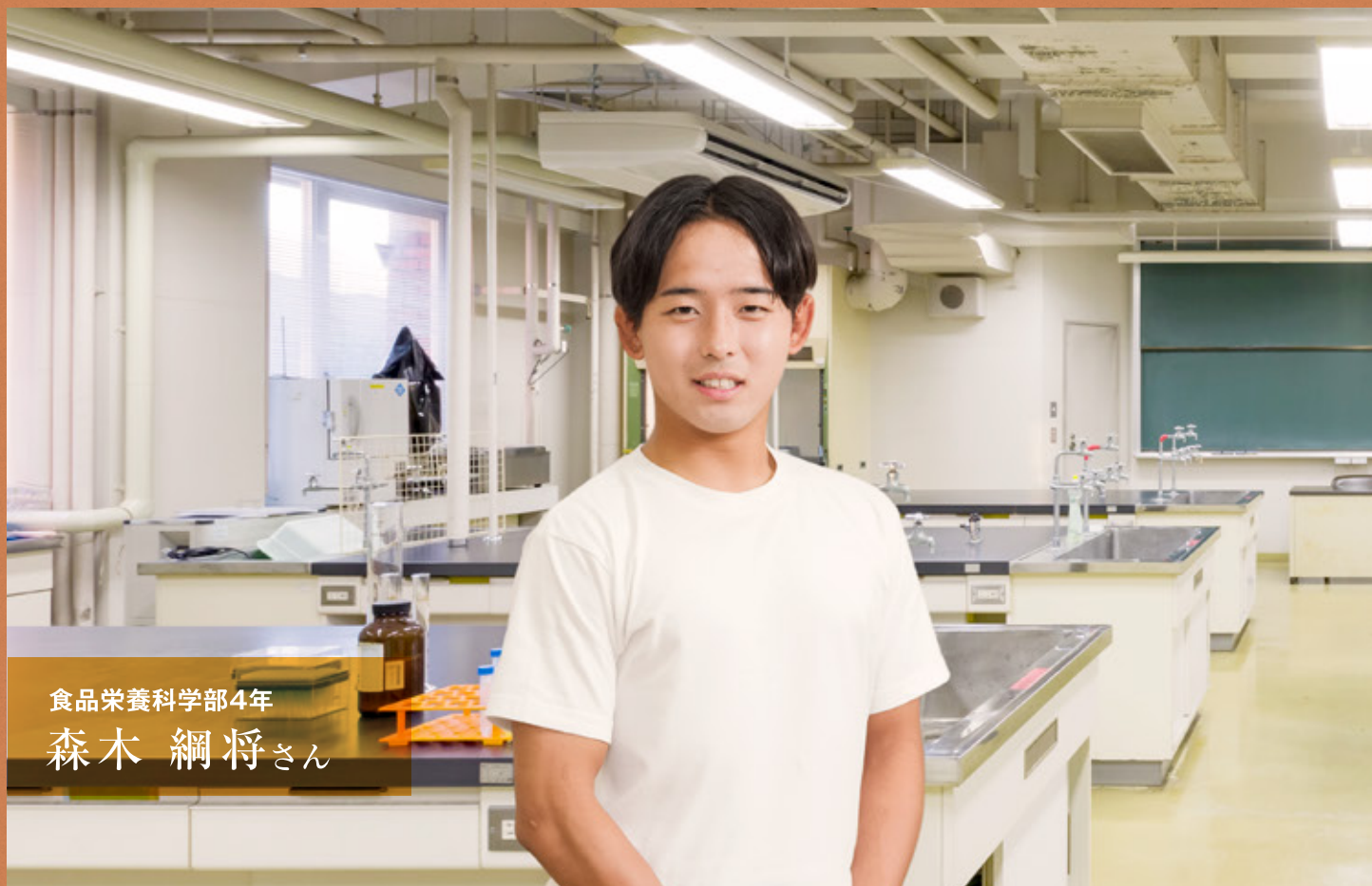
静岡県(薬剤師)

大学教員

# 食品栄養科学部

School of  
Food and Nutritional

■ 食品生命科学科 ■ 栄養生命科学科 ■ 環境生命科学科 入学定員 計70人



食品栄養科学部4年

森木 綱将さん

## 学生 × 学部長

特別対談

デアイとミライ

どのような研究や学びができるのか  
教えてください。

**伊吹:**「食」を中心とした広く深い学びが得られることが本学部の大きな特徴です。「食」は生命の基盤であり、ヒトの健康に大きく関わります。また、「食」と健康を守るためには豊かな環境が必要です。食品栄養科学部は、ヒトの健康維持に「食」が果たす役割と、持続可能で豊かな「食」を創造する方策を、食品科学、栄養科学、環境科学の3つの学問分野から探求、そして研究しています。3学科の特徴としては、食品生命科学科では食品の生産・開発・評価などに関わる専門家を、栄養生命科学科

では管理栄養士や食とヒトの健康に関わる専門家を、環境生命科学科では食と健康を支える環境づくりに貢献する専門家を育成しています。森木さんの志望理由は何ですか。

**森木:**生命科学を基盤としたカリキュラムを通じて、管理栄養士などの専門的な知識・技能を体系的に学べるからです。特に食と健康の関わりを深く理解し、将来に直結する力を養える点に惹かれました。栄養生命科学科で「食と健康」を専門的に探究し、将来は地域や社会に貢献できる人材を目指したいと考えています。

現在行っている研究や学びについて  
具体的に教えてください。

**伊吹:**多くの皆さんがイメージする「食」に比べ、本学部では「食」を中心としたもっと広いことを学びます。例えば、ヒトの健康を守る為の食習慣・

生活習慣、生物の力を利用した食資源の開発、安全な食や健康を守るための豊かな環境の維持など、食と健康、そしてそれを支える環境に関わる広い分野です。この広い分野を理解しつつ、3年生後半から配属される研究室では、専門性を極め、一つのことを追求していきます。森木さんは、どのような研究をしていますか。

**森木:**病院で患者さんの健康を支えるため、臨床栄養学や代謝に関わる知識を深めています。特に疾患ごとの代謝変化や栄養素の作用を理解し、個々に

適した栄養指導を行えるよう基礎を固めています。また、演習や実習で理論と実践を結びつけ、将来、管理栄養士として専門性を発揮できるよう学びを



## 食と健康のフロントランナーを目指して

食べ物という物質面の学問として発展してきた食品学と、  
生体内に入った食べ物の代謝や生体機能との関係を扱う栄養学と、  
食物の生産と健康への影響に深く関わる環境科学を互いに融合させ、  
「食と健康と環境」に関する諸問題を科学的に教育・研究することを目指します。



Sciences



食品栄養科学部長  
伊吹 裕子

深めています。

**伊吹:**しっかりと目標が定まっていますね。皆さんには森木さんのように「食」に関する様々なことに広く興味を持ちながらも、何か一つをとことん追求していく精神を培って欲しいと思います。



**将来のために努力していることについて教えてください。**

**森木:**専門知識とともに人との関わりを大切にしています。疾患に応じた代謝や栄養素の働きを理解する努力を重ねると同時に、演習やグループワークを通して相手の立場に寄り添いながら意見を伝える練習を行い、実践で必要となるコミュニケーション

能力を磨くことにも力を入れています。

**伊吹:**知識はもちろんですが、コミュニケーションも大切です。多くの友達と関わりを持ち、違う考え方をベースに議論するのも将来の自分を見出すための重要な学びです。また、本学では多くの学びが提供されており、全学共通科目などでは本学部の授業だけでなく、他学部の内容も学ぶことができます。それらを広く吸収し、本学部の専門内容を勉強することで、自分の将来像を見出して欲しいと思います。

**食品栄養科学部への入学を目指す受験生に、アドバイスやメッセージをお願いします。**

**森木:**栄養や生命科学の学びは幅広く、難しく感じることもあります。学ぶほどに食の大切さを実感でき、やりがいがあります。本学部は先生や仲間との距離が近く、安心して学べる環境です。管理栄養士や栄

養教諭などの専門職を目指す方にとって、大きな成長の場になるはずですよ。

**伊吹:**本学部を志望する皆さんは少なからず「食」に興味を持っているはず。でも実は、皆さんの想像より「食」の世界は広く、深いです。また、科学としての「食」は心弾むほど面白いものです。そんな面白さを極めたいという学生さんに入学して欲しいと思っています。





01  
学科紹介  
Class

「食と環境と健康の科学」を担う  
人材の育成を目指して

## 食品生命科学科

最新の生命科学を基礎に  
食品の先端的技術開発を目指す

食をめぐるさまざまな問題に対処できる食品技術者が必要とされています。そのために、化学、物理学、生物学、英語などの基礎科目と食品に関連した生命科学、工学を中心とした専門科目を幅広く配置し、食品成分に関する知識をもち、ヒトの栄養や生命科学を理解した、食品分野を先端的に担う食品技術者を育成します。

### ▼ 卒業後の主な活躍フィールド

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 大学院進学        | 食品の生理機能解明や食品に関連する先端的技術開発研究       |
| 企業<br>(食品製造) | 食品開発や品質管理・生産技術・食品製造(食品衛生管理者)など   |
| 企業<br>(その他)  | 化学・化粧品等の産業分野における商品開発・製造・品質管理など   |
| 公的機関         | 食品・衛生に関する行政指導・食品安全性検査(食品衛生監視員)など |

## 栄養生命科学科

食を通して  
人間の健康と長寿を支える

健康長寿のために、生活習慣病の予防・改善や食育の推進は重要な課題です。本学科では、栄養素の体内利用と機能について基礎から応用、さらに実践レベルまで幅広く質の高い教育を行っており、生命科学を理解した実践能力の高い日本のリーダーとして、また世界で活躍できる管理栄養士として、栄養の分野をけん引できる人材を育成します。

### ▼ 卒業後の主な活躍フィールド

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 大学院進学        | 栄養代謝に関する基礎研究や疫学研究など              |
| 公務員          | 管理栄養士として行政、栄養教諭など                |
| 病院等<br>医療機関  | 病院・介護保険施設等における栄養管理や給食経営管理の実施     |
| 企業<br>(食品製造) | 食品製造・香料・化学等の産業分野における開発・製造・品質管理など |

## 環境生命科学科

食と人の健康に関わる環境分野で  
活躍できる人材の養成を目指す

健康の維持・増進を図るためには、安全・安心な食品や水の確保が重要であり、生命の生存基盤となる環境や生態系を保つことが不可欠です。環境が食を育み、食がヒトを育み、そしてヒトが環境を育む、そのサイクルを学ぶことにより、環境科学と生命科学を基盤として食とヒトの健康に関わる環境分野で活躍できる人材を育成します。

### ▼ 卒業後の主な活躍フィールド

|                           |                                 |
|---------------------------|---------------------------------|
| 大学院進学                     | 環境保全や環境リスク・安全性評価に関する基礎研究や技術開発など |
| 企業<br>(環境コンサルタント業・試験研究機関) | 環境分析、環境リスク・安全性評価、環境アセスメントなど     |
| 企業<br>(食品、医薬品等製造業)        | 環境負荷低減技術の開発、安全性評価、環境分析・食品機能分析など |
| 公務員                       | 環境保全に関わる行政指導、環境施策の策定など          |



## 多様な分野での活躍ができる 能力育成を考慮した授業展開



### 食品物理学実験

卵を加熱すると固まり、米を水と一緒に加熱すると柔らかくなります。チョコレートはバキッと割れますが口の中で溶けます。このように食品は調理、加工などにより状態が変化します。この変化には、タンパク質や脂質などの分子が関わっています。分子や食品の状態が、なぜ、どのように変化するかを物理学を通して学びます。



### 校外実習（給食の運営）

栄養生命科学科3年生は夏休み中の1週間、学外の特設給食施設（学校給食センター、病院、高齢者施設、保育所、事業所等）に出向き、給食の運営業務やマネジメントの体験学習を行います。適切な栄養管理に必要な多くの技術と学内で学ぶ理論の統合を図り、実践の場での課題発見、解決を通して管理栄養士として具備すべき知識と技能を修得します。学年が進むとさらに、病院（2週間）、保健所等（1週間）での臨地実習があります。



### フィールドワーク

県内の環境フィールドに出向き、試料採取、現場観察、データ解析などを実習形式で学びます。今までに、天竜森林生態系における植生・野生動物の分布、樹木の生長に関わる環境因子（土壌特性、気象条件など）、森林土壌と河川水質の関連性などの調査をおこなってきています。また、食品加工業者や産業廃棄物処理施設を訪問し、産業活動により排出される廃棄物の処理方法や有効活用の現状なども学んでいます。



## 食品生命科学科と栄養生命科学科と 環境生命科学科の概略チャート



## 研究室紹介



### 01 ピックアップ研究室

#### 食品生命科学科 下山田 真 研究室

研究分野 食品工学

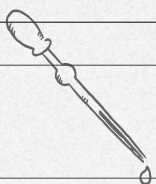


私たちの周囲には様々な食品があふれ、いつでも食べることができます。その多くは工場加工されて私たちのもとへ届けられています。食品工学研究室では加工食品を作る工程を化学的、工学的な視点で解析し、加工工程の効率化を図るとともに、革新的な加工方法の開発に挑んでいます。また、現在、人口増加などによる食肉供給の逼迫、動物保護、加えて健康上のメリットなどもあって、動物性食品を植物性素材で置き換える動きが活発化しています。このため、大豆ミートをはじめとするプラントベースフード（植物由来食品）の開発が盛んになっています。食品工学研究室ではこうした世界的な動きの中で、乳製品を豆乳で置き換えるための基礎研究を進めています。

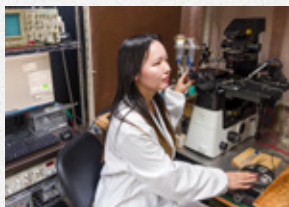
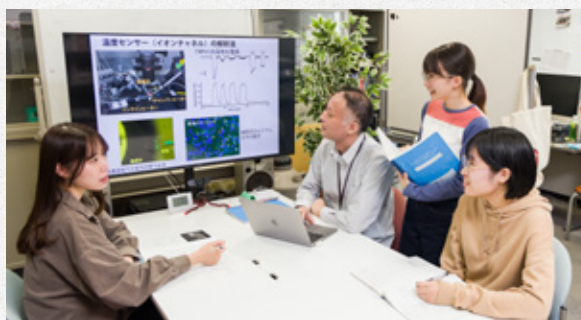
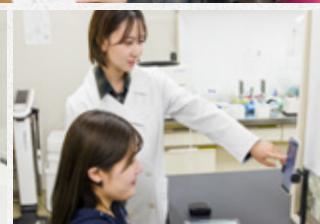
### 02 ピックアップ研究室

#### 栄養生命科学科 桑野 稔子 研究室

研究分野 栄養教育学



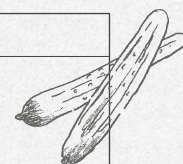
現在、日本において、栄養教育学分野の研究は歴史が浅く、科学的根拠に基づいた健康・栄養教育方法やその評価方法のエビデンスが開発途上にあります。そこで当研究室では、科学的根拠に基づいた効果的な栄養教育方法の検証とその評価方法の確立を目指し、鋭意研究に努めています。我々の研究テーマの一つである咀嚼能力とストレス状態、食生活・健康状態との関連の研究では、咀嚼能力が高い人は、一時的にストレスがかかってもすぐに自律神経バランスが安静状態へ回復し、ストレス耐性があることを明らかにし、NHKあさイチ等でご紹介いただきました。当研究室の研究成果が日本の栄養教育学分野の科学的根拠の一端を担い、その発展に貢献できたらと思い、日々研究に取り組んでいます。



### 03 ピックアップ研究室

#### 環境生命科学科 内田 邦敏 研究室

研究分野 生体機能学



私たちは、温度、光、音、化学物質など、絶えず変化する環境を感じ取りながら生きています。一方で、体の内部環境も常に変化しており、それを感知して一定の範囲に保つ仕組みが働いていると考えられます。こうした環境変化を正しく感知し、体の機能を適切に調節することは、生命と健康の維持に不可欠です。生体機能学研究室では、温度感受性TRPチャネルをはじめとする生体センサー分子の構造と機能を分子から個体まで多角的に解析することで、環境変化の感知と生体機能調節の仕組みを明らかにします。さらに、温度やセンサー分子に関わる病気の発症メカニズムを理解し、疾患の予防や治療法の開発にもつなげることを目指しています。

OB・OG紹介



静岡市

清水区役所地域総務課 勤務

岡谷 拓真さん

2020年3月卒業

環境生命科学科では食とヒトの健康に関わる環境や生態系をテーマとし、環境課題を分析・解決するための知識や技術を学び、また環境工学研究室での研究を通して、より専門的に学びを深めることができました。卒業後は、焼津市役所に就職し、経済部局にて食品関係会社と協力し、市の経済活性や地場産品のブランド力強化に携わってきました。また現在は、人事交流として静岡市清水区役所に出向し、自治会からの相談・各種手続きへの対応や区の魅力発信を行っています。食や環境と直接関わる仕事ではありませんが、地域課題に対する多角的な視点や柔軟な思考による課題解決能力、また資料作成および説明能力など、学部在籍時に専門分野と合わせて学んだスキルが業務に活かしています。在学中の学びや経験は必ず皆さん自身の強みとなり、将来の進路選択に大いに役に立つと思います。大学での経験や出会いを大切に、様々なことに挑戦してみてください。

取得資格のピックアップ

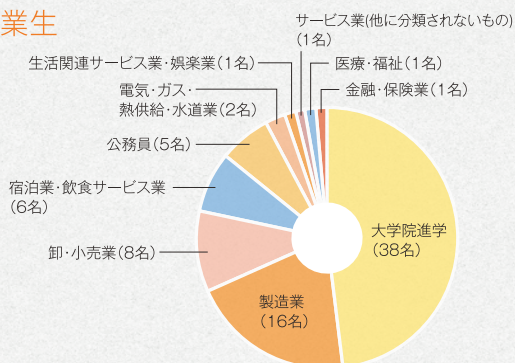
▶ 取得できる資格一覧はP63参照

食品生命科学科は、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けており、プログラム修了者は技術士補(農業部門)登録申請資格を取得できます。栄養生命科学科では、栄養士免許申請資格、管理栄養士国家試験受験資格を取得することができます。また、所定の単位を修得すると栄養教諭一種免許状が取得できます。環境生命科学科では、環境計量士、放射線取扱主任者等の資格に関して、複数の講義で関連する知識を習得することができます。また、食品生命科学科及び環境生命科学科では所定の単位を修得すると、高等学校教諭一種免許状(理科)が取得できます。さらに、全学科において、食品衛生監視員、食品衛生管理者の申請資格、文部科学省認定制度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)修了証を取得することができます。

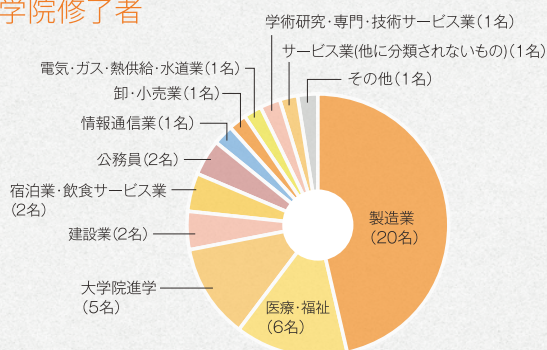
進路状況

2025年度卒業生

学部卒業生



大学院修了者



主な就職先(過去3年)

|          |                |              |             |
|----------|----------------|--------------|-------------|
| 味の素食品    | ホテイフーズコーポレーション | 中外製薬工業       | 静岡県立病院機構    |
| 伊藤ハム     | 明治             | パナソニック       | 三重大学医学部附属病院 |
| 紀文食品     | 三生製薬           | 鈴与システムテクノロジー | 岐阜県総合医療センター |
| 日清製粉ウェルナ | 杏林製薬           | 静岡ガス         | 藤枝市立総合病院    |
| 山崎製パン    | マルハチ村松         | 島津テクノリサーチ    | 山梨県(栄養士)    |
| 日清ファルマ   | ツムラ            | 中部電力         | 静岡県(事務、栄養士) |
| 日本ハム食品   | 日立医薬情報ソリューションズ | いであ          |             |
| ハウス食品    | 資生堂            | LIXIL        |             |